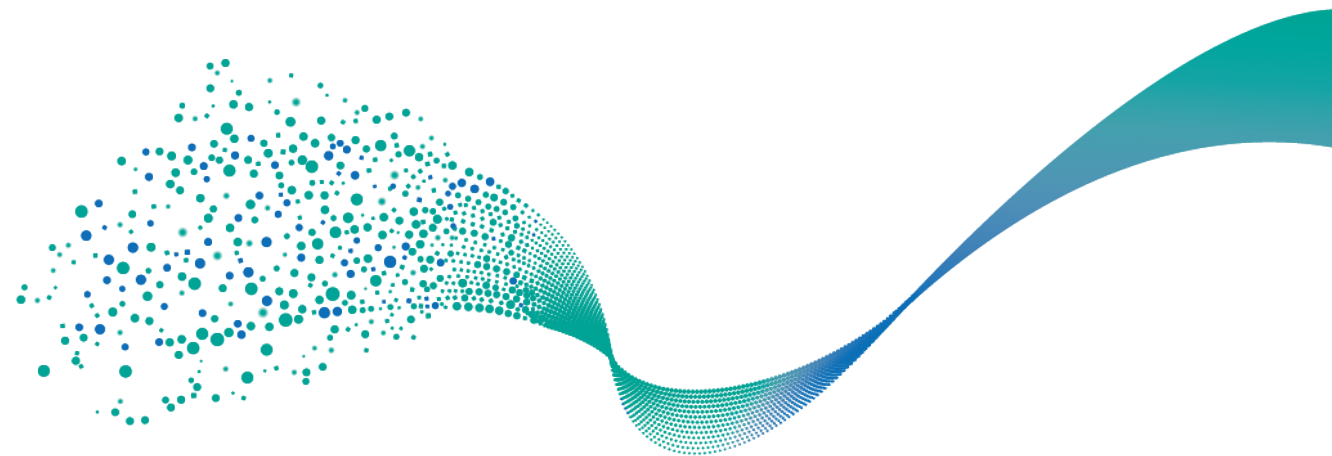


# DFM Studio v2.0.2 リリースノート

2022年1月  
株式会社エリジオン



# 目次

1. リリース製品
2. 対応OS
3. 主なバージョンアップ内容
4. 既知の問題

# 1. リリース製品

- **DFM Studio Inspector for DFM Studio v2.0.2**
  - 検証結果をリストで確認するためのアプリケーション
- **3DxSUITE Viewer for DFM Studio v2.0.2**
  - 検証結果を3Dモデルで確認するためのアプリケーション
- **ASFALIS SmartLauncher for DFM Studio v2.0.2**
  - クライアントPCで検証結果を作成するためのアプリケーション
- **ASFALIS TransServer for DFM Studio v2.0.2**
  - ASFALIS SlaveNodeで実行されるジョブを管理するための、Webベースのクライアント・サーバーシステム
  - 検証結果をマルチユーザーで共有、利用することができます
- **ASFALIS SlaveNode for DFM Studio v2.0.2**
  - サーバーPCで検証結果を作成するためのアプリケーション

## 2. 対応OS

- DFM Studio Inspector for DFM Studio v2.0.2
  - Microsoft Windows 10 Pro (x64)
- 3DxSUITE Viewer for DFM Studio v2.0.2
  - Microsoft Windows 10 Pro (x64)
- ASFALIS SmartLauncher for DFM Studio v2.0.2
  - Microsoft Windows 10 Pro (x64)
- ASFALIS TransServer for DFM Studio v2.0.2
  - Microsoft Windows Server 2012 RTM
  - Microsoft Windows Server 2012 R2 RTM
  - Microsoft Windows Server 2016
- ASFALIS SlaveNode for DFM Studio v2.0.2
  - Microsoft Windows 10 Pro (x64)

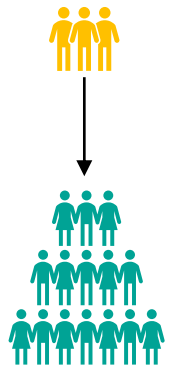
\*: 動作環境の詳細は各インストールガイドをご参照ください

### 3. バージョンアップコンセプト: より多くの方が、より日常的に

- v2.xでは、DFM Studioの実行環境を充実させ、さらに検証、確認1回あたりの実行コストを下げることで、全ユーザに日々お使いいただけるシステムを目指します

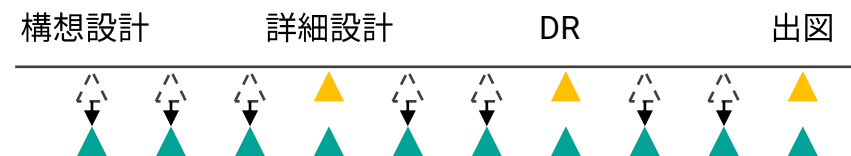
#### より多く

ユーザ数の拡大



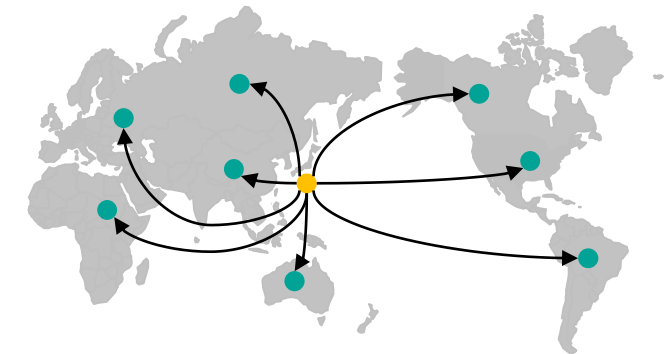
#### より広範に

利用機会の増加



#### より多拠点で

グローバルな展開



### 3. 主なバージョンアップ内容(2-1)

#### A) 検証環境の充実化

- a. SOLIDWORKS Connectorの追加
- b. オンメモリ シナリオ実行への対応

#### B) パフォーマンス向上

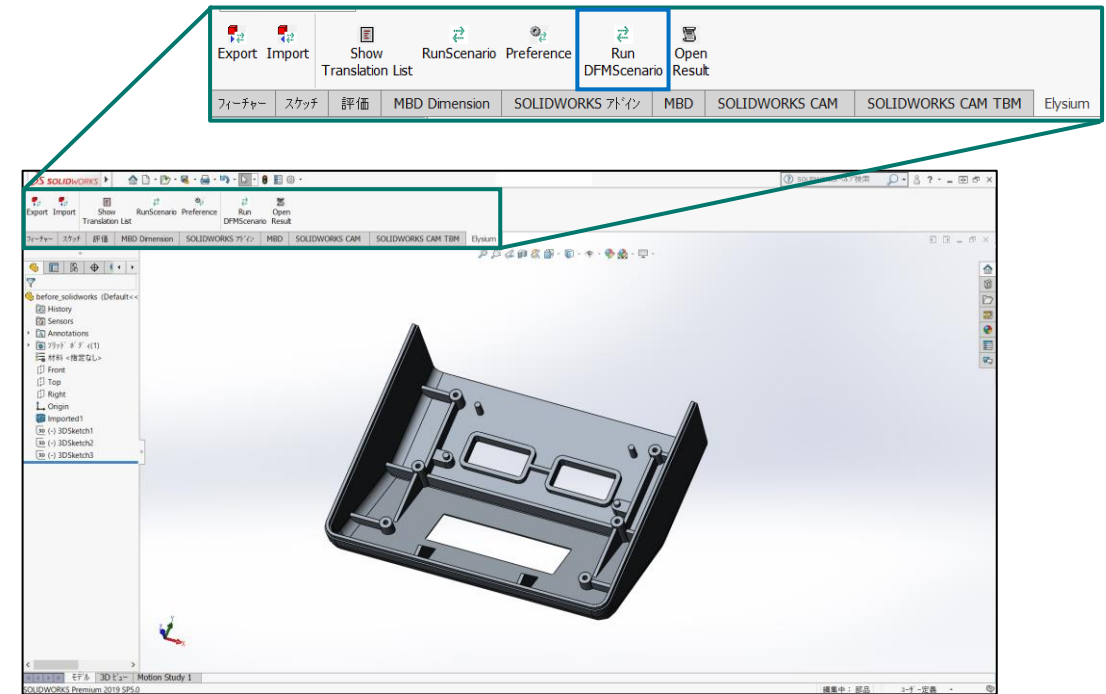
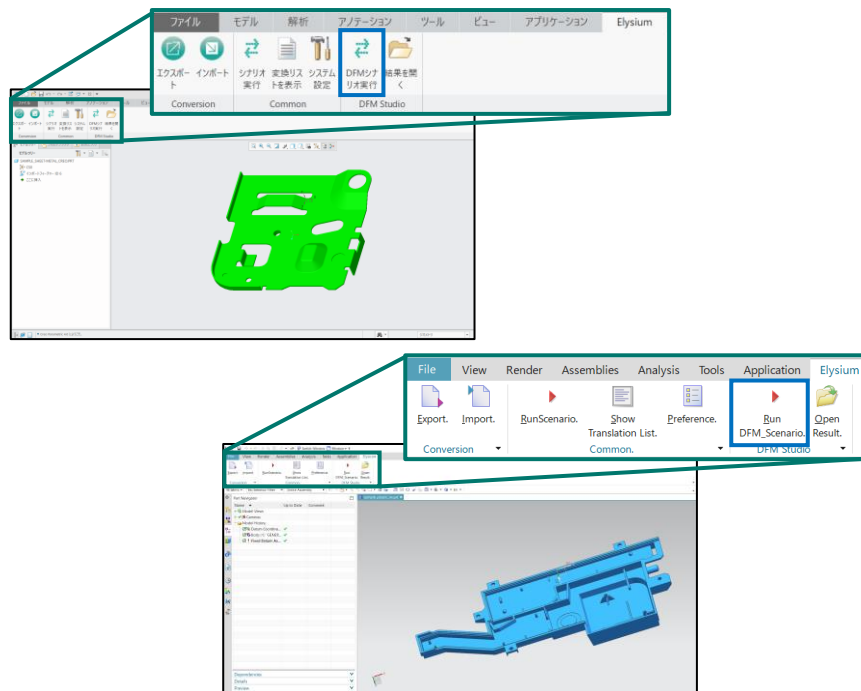
- a. 検証時間の高速化
- b. 検証結果保存の高速化
- c. リスト表示の高速化
- d. 3Dモデル ハイライト表示の高速化
- e. 検証結果ファイルサイズの低減

### 3. 主なバージョンアップ内容(2-2)

- C) 煩雑さをなくした快適な操作環境の提供
  - 特になし
- D) 検証内容の改善・拡充
  - 特になし
- E) その他 (改修 および 不具合修正)

# SOLIDWORKS Connectorの追加

- Creo、NXに加えて、SOLIDWORKSに関してもCADで設計中にオンデマンドでDFM Studioを利用できるようになりました



**NEW**

\*: 本機能を利用するには、CAD to ENF(Adapter (Importer))の変換ライセンスが必要です

\*\*\*: 対応バージョンに関しては、ASFALIS Smart Launcherのドキュメント"ASFALIS\_SmartLauncher\_Supported\_CAD\_Versions\_ja.pdf"をご参照ください



## オンメモリ シナリオ実行への対応

- CADで設計中のメモリ上のデータを入力に、DFM Studioを実行できるようになりました
  - ✓ 設計中のデータに対して事前に保存する必要がなくなりました
  - ✓ WindchillやTeamcenterと接続しているCADからも、DFM Studioを実行できます



## DFM Studioの検証プロセスに関する、あらゆるパフォーマンスを改善

| 対象         | 高速化率(対 v1.5.x 比較) |
|------------|-------------------|
| 検証実行       | 18%               |
| 検証結果保存     | 73%               |
| リスト表示      | 87%               |
| 3Dモデルハイライト | 30%               |

| 対象      | 低減率(対 v1.5.x 比較) |
|---------|------------------|
| ファイルサイズ | 42%              |

\*: 弊社内テスト結果を元に算出

# 改修 および 不具合修正

## 1. 樹脂要件検証

- ✓ プロパティに"FARバージョン"を表示するようにしました。
- ✓ プロパティ"ドキュメントリンク"から"検証内容"に変更しました。
- ✓ 「1.1 厚肉部」のパラメーター" CheckStdThicknessRatio.Flag"が効かない不具合を修正しました。
- ✓ リブ認識に時間がかかる場合がある問題を修正しました。

## 2. 板金要件検証

- ✓ プロパティに"FARバージョン"を表示するようにしました。
- ✓ プロパティ"ドキュメントリンク"から"検証内容"に変更しました。
- ✓ 板金検証共通パラメーターに"バーリング高さ検出上限値"、"張出し高さ検出上限値"を追加しました。
- ✓ 「3.1 バーリング径・高さ」、「6.1 ダボ径・高さ」で、径に一致する値が指定したパラメーターにない場合、判定式に"-"が表示されるようにしました。

## 3. Inspector

- ✓ FARをダブルクリックで開けるようにしました。
- ✓ "名前"列をID順にソートできるようにしました。
- ✓ 「ビュー操作の割当て」に"操作なし"を追加しました。

## 4. Model Viewer

- ✓ 断面表示中にパン操作を行うとモデルがビュー外に消えてしまう不具合を修正しました。
- ✓ 検証結果を全てハイライトした状態で再描画すると、不正な表示状態になる不具合を修正しました。
- ✓ 自動キャプチャ時に、描画が乱れた状態でキャプチャされる場合がある不具合を修正しました。

\*: 変更後のパラメーター仕様は、板金要件の検証項目/形状認識 設定ガイド "DFM\_Studio\_CheckItem\_Guide\_SheetMetal\_ja.pdf"をご参照ください

## 4. 既知の問題

- ASFALIS SmartLauncher
  - ✓ CAD Connectorで、CADを終了してもInspectorおよびModel Viewerが終了しない場合があります。

本コンテンツに関わる著作権は  
株式会社エリジオンもしくは原権利者に帰属しています。

著作権者の承諾なしに無断で改変、複製、転載、再配布、転送、  
公衆送信、販売、貸与などの行為をすることは禁じられています。

